

傾斜隔壁越流型魚道

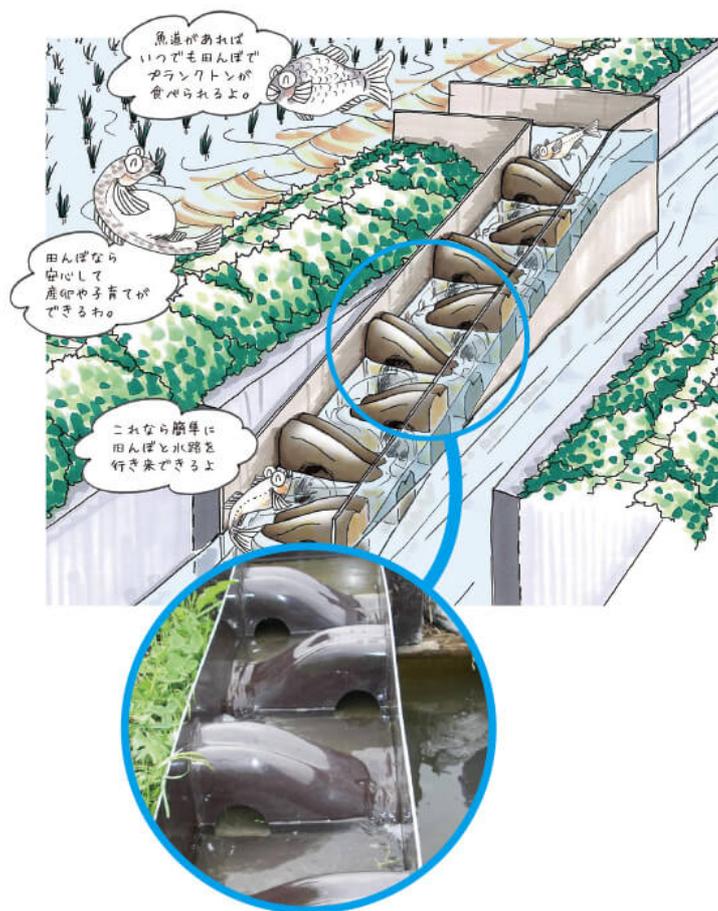
双翼型魚道（水田魚道）

特長

■ 双翼型魚道は、農業用水路および水田を接続する「傾斜隔壁越流型魚道」です。

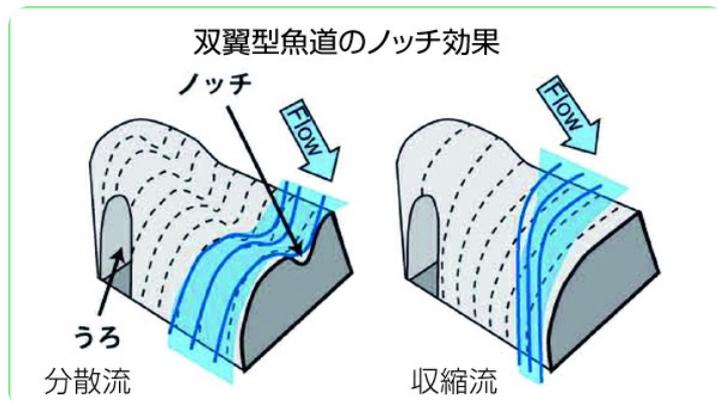
■ 農村地域の生態系を考えたとき、水を介した生態系ネットワークの構築が重要となります。

双翼型魚道を水田魚道として設置し水路と水田をつなぐことで、魚類の産卵・稚魚の育成の場として水田がよみがえります。



魚類にやさしく、高い遡上率！

越流部中央の切り欠き（ノッチ）効果によって、体長50mm以下の遊泳力の低い魚類（小型魚）も越流水深が20mm程度で遡上が可能です。また、魚道の隔壁に設けたうろ（空洞）は、遡上中の魚類の避難場所になります。



急勾配でも設置可能！

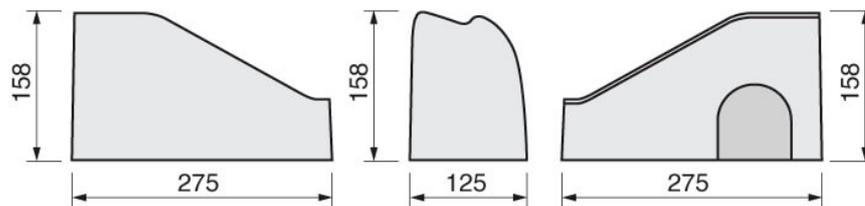
魚が遡上しやすい流れを形成するため、勾配を幅広い範囲で設置できます。（1：10～1：3）

双翼型魚道ブロック R型

※L型は、本図とは勝手違いとなります。

参考質量(kg)

6



施工例



低勾配（1：7）での施工事例



高勾配（1：5）での施工事例



農業用排水路（取り外し可能）



水田と排水路の段差



水路の落差

